



国際ソロプチミスト豊橋ポート

青い目の人形物語

“100才のお人形”のおはなしと合唱ミュージカル

昭和2年(1927年)アメリカから届いた約13,000体の日米友好の使者・青い目の人形。全国の小学校等へ贈られ盛大な歓迎会が行なわれました。しかし 日米開戦を機にその運命は一転します。

第一部 “100才のお人形”のおはなし

青い目の人形・あいちの会

石原憲人・久崎裕子

第二部

合唱ミュージカル と・よ・か・わ

青い目の人形物語

～海を渡ったエイミーより～

豊川親子合唱団たけのこ

原作：川村ミチル「海を渡ったエイミー」より潤色：豊川親子合唱団たけのこ

作詞：川村ミチル 作曲：藤村記一郎 挿入曲：柿本真彩子

指揮：小杉真知子 ピアノ：柿本真彩子 シンセサイザー：山下真理

演出：平松友紀 ダンス振付：Аня 舞台監督：梶野真男

照明・音響：(株) ステージブレイン 舞台美術：(株)舞台工房伽藍堂



令和8年6月13日(土)

開場 14:30
開演 15:00
終演 16:40

(全席自由)

一般 2,000円

4歳から高校生 1,000円

(お席を使われる場合4歳未満でも有料)

穂の国とよはし芸術劇場
TOYOHASHI ARTS THEATRE

PLAT
主ホール



主催 / 国際ソロプチミスト豊橋ポート お問い合わせ 090-3457-1001

後援 / 豊橋市・豊橋市教育委員会・豊川市・蒲郡市・田原市・新城市・中日新聞社
東愛知新聞社・東海日日新聞社・(公財)豊橋文化振興財団・やしの実FM・[ティーズ]

豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道遠美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。*駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場をご利用下さい。豊橋まちかちか・えきちか駐車場(公共第1・第2)・パーク500をご利用の場合、料金が30分150円から30分100円に割引(上限4時間)

青い目の人形ってなあに？

親日家のアメリカ人宣教師ギューリック博士は、日系移民問題により悪化していく日米関係に心を痛め、「世界の平和は子どもから」をスローガンに、日米の子どもたちに友情を育んで欲しいと、1927年 13000体あまりの「青い目の人形」を日本に送りました。ギューリック博士と親交のあった渋沢栄一氏を中心に文部省を通して全国の学校や幼稚園に贈られました。しかし、太平洋戦争がはじまり、青い目の人形は敵国の人形だとして壊され、焼き払われていきました。ところがこっそりと守られた人形もあり、戦後全国で300体あまりの人形が倉庫や天井裏、押し入れなどから見つかりました。愛知県には10体、東三河には、豊橋市西郷小学校のコネタ、細谷小学校のエセル・ディーン、豊川市御津南部小学校のヘレン、新城市東陽小学校のノルマンなど6体が残っています。



シドニー・ルイス・ギューリック博士
「同志社大学神学部」所蔵



渋沢栄一氏
「渋沢史料館」所蔵



細谷小学校
エセル・ディーン



西郷小学校
コネタ

豊川親子合唱団たけのこ

1995年9月、合唱劇「ピカドンたけやぶ」の公演を機に豊川市に発足、結成30年。親子で平和の大切さを歌い継いでいこうと、これまでに行ってきたミュージカルや合唱組曲の公演は16回。合唱劇「カネト」や「ぞうれっしやがきた」の海外公演など、多数の公演に団で参加。また他にもほ一ほう音楽祭など地域の活動にも積極的に参加。子どもたちの自主性を大切に、大人も子どもも一人ひとりが輝くような合唱団を目指して活動中。



合唱ミュージカル「とよかわ青い目の人形物語～海を渡ったエイミーより」は夏目勝弘氏が出版した著書「青い目の人形物語」をもとに同郷で名大合唱団後輩の藤村記一郎氏に創作依頼したのをきっかけに、愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団 親と子のみどりの杜合唱団によって2018年に創作初演されたものを、豊川版に潤色しました。

青い目の人形・あいちの会

日米友好の象徴である「青い目の人形」の歴史と、平和の理念を次世代に伝えるため、講演会、シンポジウム、紙芝居公演、展示会などを開催し、愛知県内で現存する人形の保存・活用に尽力しています。設立7年目の2027年“人形交流100周年”に向けて記念事業の準備を進めています。

石原憲人(いしはら けんと)

1985年 名古屋市生まれ。南山大学人間文化研究科博士前期課程終了。2010年 幸田町役場入庁現職。幸田町養育委員会、郷土資料館にて考古学や民俗学などの学芸業務に従事する。幸田小学校の青い目の人形「グレース・エッサ」を文化財にすべく、愛知県にある10体の人形調査を行い、歴史的意義を伝える。

久崎裕子(ひさざき ゆうこ)

1964年生まれ。“本で世界を心地よく”をライフワークにする専業主婦。大家族での4人の子育てと介護の経験からスローライフを継続中で、携帯電話不携帯。幡豆中学校図書ボランティア、青い目の人形・あいちの会(西尾市立吉良中学校 アテナ担当)、岡崎友の会(子どもたちが通った 自由学園創立者羽仁もと子の『婦人之友』読者の集り)所属。